



いのち豊かな伊勢湾再生に向けた森づくり



2025年2月28日

中部国際空港株式会社
塩田 昌弘



1. 海の森づくり
2. 山の森づくり
3. その他の活動

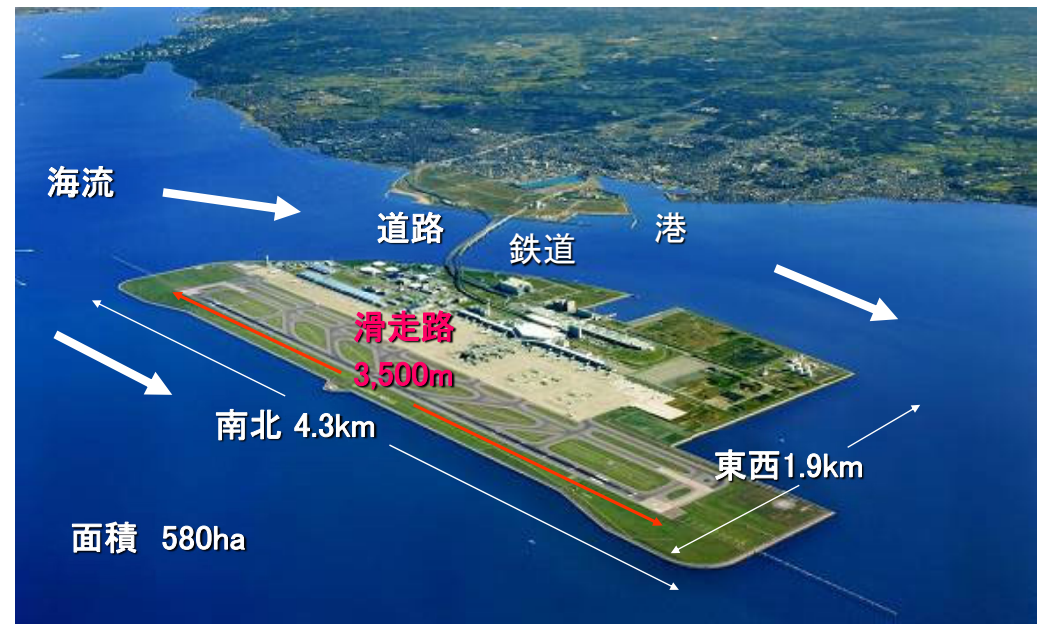


1

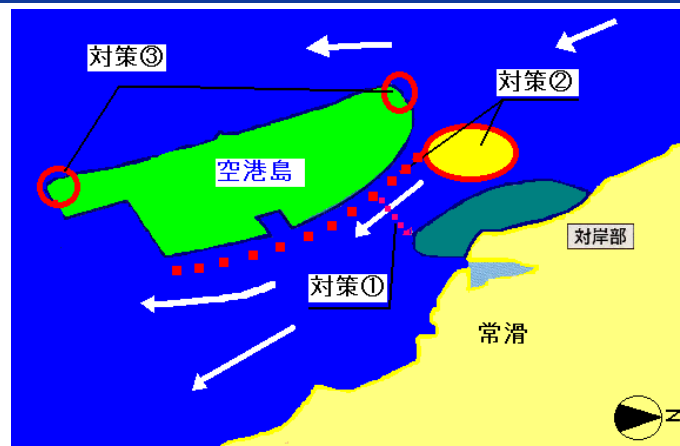
海の森づくり



1-1. 空港島の形状



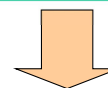
1-2. 海域環境に配慮した空港島の形状



- ① 潮流に配慮した海域幅
- ② 更なる潮通しに配慮した曲線形状の採用
- ③ 潮あたりに配慮した隅角部の曲線化

1-3. 海域環境に配慮した空港護岸

藻場の造成計画



傾斜堤護岸の採用・岩礁性藻場の創出

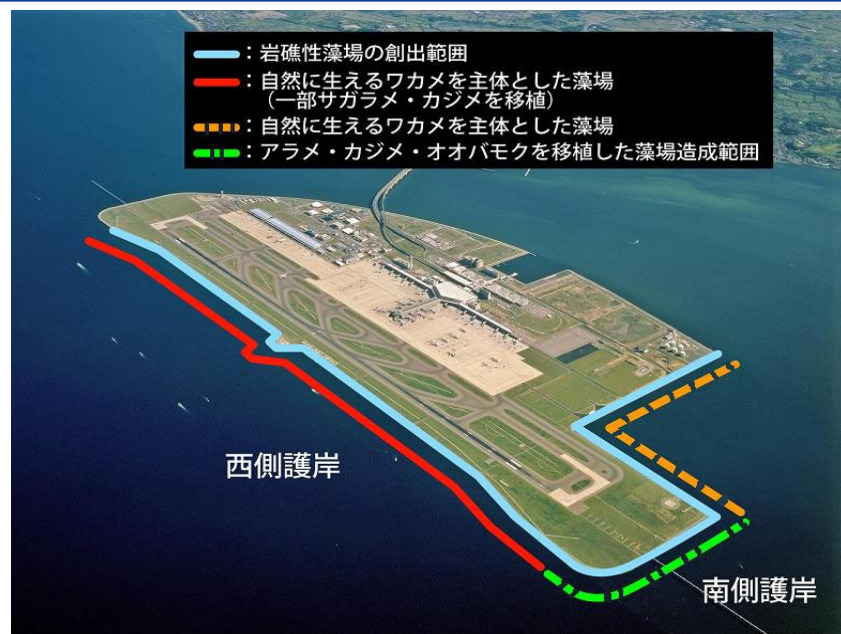
魚礁効果

- ① 魚類等の産卵場
- ② 幼稚仔の保育場
- ③ 小魚の隠れ場

酸素放出と栄養塩類の吸収による海水浄化機能

二酸化炭素の吸収による温暖化防止

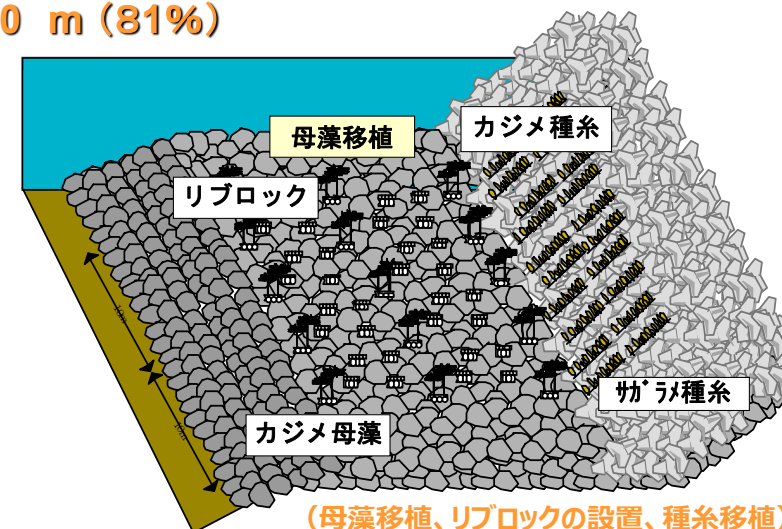
1-4. 空港護岸の藻場



1-5. 海域環境に配慮した緩傾斜護岸

○ 造成範囲

空港会社管理護岸 約 8,000mの内、
約 6,500 m (81%)



(母藻移植、リブロックの設置、種系移植)

造成手法



護岸に繁茂した藻類



カジメ



ワカメ



アラメ



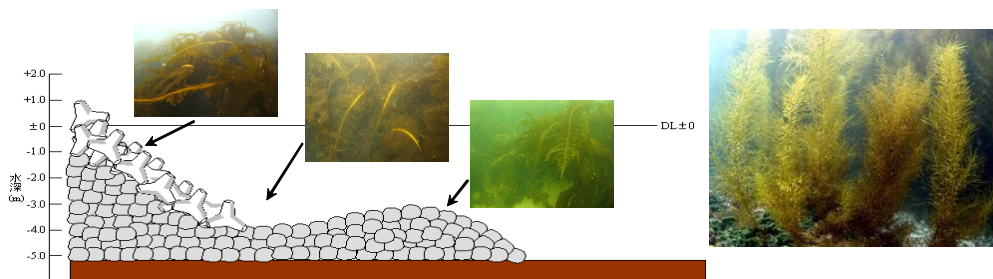
アカモク

1-8. 護岸藻類の変化

多年藻を用いた藻場に、

1年藻の**アカモク**が自然に繁殖。

- 西護岸にはワカメとアカモク等ホンダワラ類
- 北・南・東護岸はアカモク等ホンダワラ類



1-9. 護岸藻類の繁茂状況（1）





生物多様性と海域環境と地域共生との両立

- ・未利用海洋資源の資源化による地域資源の創出
- ・地産品の創出による地域の漁業の活性化
- ・漁業者の六次産業化を支援による空港と
- ・漁業者とのパートナーシップの醸成
- ・地域の食育への貢献



空港護岸に繁殖した海藻アカモクの地域資源化と漁業の活性化に到達



そして今や、漁業者をサポートして地域の大学と複数の企業を結びつけた産学連携によって創出した地域資源の更なる可能性の研究に発展。

新型コロナウイルスに有効で持続性ある除菌液を研究・開発。
セントレアのターミナル内で来港者の手指消毒液として利用。



2

山の森づくり

2-1.山の森づくり



➤ACTION 「山の森づくりから始める海づくり」

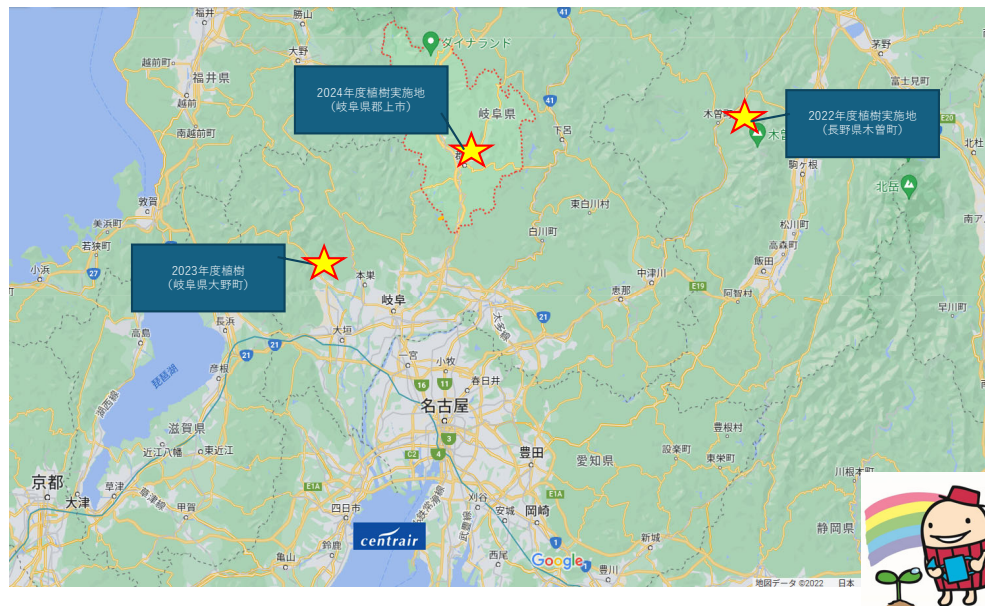
➤事業内容：木曽川水系上下流広域連携による落葉広葉樹の苗木植樹

- 事業目的：①流域での自然環境の創出・国土保全
②流末であるセントレア周辺海域の豊かな海の更なる創出
③河川上下流間の異業種による先進的な広域連携SDGsの推進

➤パートナー：

- 2022年 木曽川上流域 長野県木曽町、愛知県漁連、木曽森林組合
2023年 揖斐川分流部 岐阜県大野町、同町大野北小学校、伊勢湾フォーラム
2024年 長良川上流域 郡上市、県立郡上高校、伊勢湾フォーラム、吉田自治会
2025年（予定）木曽川支流飛騨川 下呂市

2-2.【山の森づくり】活動場所



2-3.【山の森づくり】実施記録（1）

森づくりから始める海づくり

伊勢湾の豊かな海を未来に繋げるSDGs活動を、地域と一体となって推進していくことを目指して、中部国際空港では、毎年**植林活動**および**海岸清掃**を実施。中部国際空港は、空港建設段階から人と環境にやさしい空港を目指している。そして現在も循環型社会の構築及び持続可能な社会の実現(SDGs)に向けて、地元の皆様と連携し取り組んでいる。

森づくり_これまでの実施記録

セントレアでは、2022年から3年かけて、木曽川、長良川、揖斐川からなる木曽川水系の木曽三川それぞれに「セントレアの森」を設置。

豊かな海 伊勢湾を未来につなげる森づくり	セントレアと大野町のSDGsの森づくり	セントレアと郡上市のSDGsの森づくり
2022年5月25日（水曜） 伊勢湾で共生する愛知県漁業協同組合と木曽川源流域の長野県木曽町と連携。	2023年6月5日（月曜） 揖斐川流域にある岐阜県揖斐郡大野町のご理解とご協力のもと、NPO法人伊勢湾フォーラムとも連携。	2024年5月29日（水曜） 長良川上流域にある岐阜県郡上市のご理解とご協力のもと、NPO法人伊勢湾フォーラムとも連携。

2-3.【山の森づくり】実施記録（2）

森づくりの現在の状況_すくすくと育つ苗木たち

2022年5月29日にケヤキの苗木50本を植林してからちょうど2年が経過した長野県木曽町の「セントレアと愛知の漁民の森」と、2023年6月5日にコナラとクヌギ合わせて150本の苗木を植林してから丁度1年が経過した「セントレアと大野町のSDGsの森」の現在の様子。
どちらも獣害もほとんどあうことなく、風雨にも負けずに、すくすくと成長している。

豊かな海 伊勢湾を未来につなげる森づくり	セントレアと大野町のSDGsの森づくり
2022年5月25日（水曜）から2年経過 伊勢湾で共生する愛知県漁業協同組合と木曽川源流域の長野県木曽町と連携。	2023年6月5日（月曜）から1年経過 揖斐川流域にある岐阜県揖斐郡大野町のご理解とご協力のもと、NPO法人伊勢湾フォーラムとも連携。

3

その他の活動

3-1.清掃活動



➤ACTION 「身近に捉える生物多様性と海域環境保全」

➤事業内容：空港内事業者の関係者とその家族による空港近接海浜での人工漂着ゴミ回収と共生する生態系にふれる

➤事業目的：①空港島周辺の海域環境保全
②空港内事業者の関係者とその家族への啓発
③異業種連携によるSDGsの推進

➤パートナー：

鬼崎漁業協同組合、NPO法人伊勢湾フォーラム、
中部国際空港エコエアポート推進協議会
(協力) 常滑市、サントリーホールディングス

3-2.清掃活動



3-3.啓発と情報発信



ACI（国際空港評議会）主催の
「ACI Asia Pacific & Middle East」の
「Green Airports Recognition 2024」を受賞



ご清聴ありがとうございました